

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 7 月 26 日

評価対象事業		評価者	文化課長	藤田 聡一郎
共生-23	国際交流推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	文化課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	多文化共生社会	施策の方針	多文化共生社会の推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市民の国際交流・国際協力活動への支援を行うとともに、多文化共生社会への理解を図り、国籍や文化の違いを認め合い、外国籍市民とともに暮らしやすい地域づくりを進めるため。
効果	行政レベル、市民レベルともに、国際理解や多文化共生社会への理解を進展させ、地域の国際化を進めることにより、世界に開かれたまちづくりを図る。

2 令和3年度（2021年度）に実施した事業の概要

・国際交流や国際協力を行う市民団体の活動の活性化のため、新型コロナウイルス感染症感染対策を実施して規模を縮小し、国際交流フェスティバルを開催した。  
 ・市と市民団体が連携し、市と団体及び団体間でのネットワーク化や情報の共有化を図った。  
 ・外国籍市民等からの要望を受け、市民通訳ボランティアを派遣した。  
 ・国際交流員を配置し、ホストタウン構想に基づき、フランスセーリング代表チームの受け入れ等東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の参加国との国際交流事業を行った。

3 事業を構成する事務事業（最小事業）実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度		達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	指標(実績値)	指標(目標値)	
01	国際交流啓発事業	国際交流講座講師謝礼等	国際交流講座参加人数(回)	- / - 0 / 0	- 0	1 30	-	
02	国際交流フェスティバル事業	会場内仮設電気設備設置委託料	国際交流フェスティバル参加団体数(団体)	13 / 20 224 / 234	20 234	20 296	65.0%	
03	市民団体連携事業	国際交流・国際協力活動団体情報誌の発行	情報かわら版発行回数(回)	4 / 4 0 / 0	4 0	4 0	100.0%	
04	通訳ボランティア事業	市民通訳ボランティア活動謝礼	市民通訳派遣回数(回)	2 / 5 6 / 15	5 15	5 15	40.0%	
05	ホストタウン事業	ホストタウンイベント開催委託料等	ホストタウンイベント回数(回)	0 / 2 4,638 / 27,082	2 27,082	- 0	0.0%	
06	関係団体負担金	神奈川県日中友好協会賛助金、医療通訳派遣システム分担金	-	- / - 51 / 51	- 51	- 51	-	
07	一般事務経費	消耗品費	-	- / - 8 / 11	- 11	- 6	-	
08				/				
09				/				
10				/				
			財源内訳	国県支出金	3,031 / 23,716			
				地方債	/			
				その他特定財源	/			
				一般財源	1,896 / 3,677	398		
				事業費の合計(千円)	4,927 / 27,393	398		
				人件費(千円)	7,630	4,742		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.0	0.8	0.6			
会計年度任用職員	1.0	1.2	0.1			

## 5 評価結果

### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	国際交流啓発事業	新型コロナウイルス感染症拡大の影響及び予算の削減等の理由から実施を見送った。	多文化共生社会への理解を図り、国籍や文化の違いを認め合い、外国籍市民とともに暮らしやすい地域づくりを推進する。	国際交流・協力団体等の協力を得ながら、時世や社会情勢を鑑み、話題性のあるテーマ選定を行うとともに、集客の向上に努め、ハイブリッド形式等、多くの人が参加しやすい方法を検討する。
02	国際交流フェスティバル事業	新型コロナウイルス感染症感染拡大対策のため、舞台行事及び飲食の提供などは行わなかったことから、目標値を下回る結果となった。	多文化共生社会への理解を図り、国籍や文化の違いを認め合い、外国籍市民とともに暮らしやすい地域づくりを推進する。	国際交流や国際協力を行う市民団体の活動の周知に努めるとともに、市民の国際交流・国際協力活動に対する理解をさらに深められるように取り組む。
03	市民団体連携事業	国際交流事業の活性化と市民等への情報提供のため、「情報かわら版」を年に4回発行し、目標値を達成した。	多文化共生社会への理解を図り、国籍や文化の違いを認め合い、外国籍市民とともに暮らしやすい地域づくりを推進する。	国際交流や国際協力を行う市民団体の活動の周知に努めるとともに、市民の国際交流・国際協力活動に対する理解をさらに深められるように取り組む。
04	通訳ボランティア事業	外国籍市民が来庁した際の受け身の制度であることから、目標値を下回った。	多文化共生社会への理解を図り、国籍や文化の違いを認め合い、外国籍市民とともに暮らしやすい地域づくりを推進する。	外国籍市民が来庁した際の受け身の制度であること、また、ボランティア登録者への研修会等定期的な情報提供や交換を行う必要がある。
05	ホストタウン事業	新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、ホストタウンイベントは実施しなかったため、目標値を下回った。	行政レベル、市民レベルともに、国際理解や多文化共生社会への理解を進展させ、地域の国際化を進めることにより、世界に開かれたまちづくりを図る。	- (令和3年度で事業終了)
06	関係団体負担金	-	多文化共生社会への理解を図り、国籍や文化の違いを認め合い、外国籍市民とともに暮らしやすい地域づくりを推進する。	-
07	一般事務経費	-	-	-
08	0			
09	0			
10	0			

### (2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 ○-1 市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要な事業がある
		協働実施済の場合のパートナー 国際交流・協力団体連絡会

### (3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
国際交流フェスティバルの開催及び情報かわら版の発行等を通して、国際交流・国際協力への理解を深められるように、継続的に取り組むとともに、外国籍市民に対しても、市民通訳ボランティアの協力等により、市民同士が支え合う開かれた地域づくりの推進を行っていく。					

**【参考】**

**◎事業実施に係る主な指標**

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

**◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)**

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	当市の相対的な位置付けを他市との比較値によって測る定量評価には、事業の性質上、馴染まないと考ええる。
--------------------------	--